

林木遺伝子銀行 110 番

貴重な天然記念物や巨樹、名木等の後継樹を残すお手伝いをします

森林総合研究所林木育種センター東北育種場 **長谷部辰高**

1 **「林木遺伝子銀行110番」**とは、衰弱や伐採などで無くなってしまふ危険性が高い天然記念物や巨樹、名木、森の巨人たち百選等の樹木を、つぎ木やさし木増殖により同じ遺伝子を受け継ぐクローン苗木として育成し里帰りさせる事業です。この事業は平成15年12月1日から開設され無償で行っており、当育種場でもクローン苗木を保存して研究材料として活用させていただいております。

2 当育種場の管轄地域である東北育種基本区（青森・岩手・宮城・秋田・山形・新潟）では、これまで40件の要請を受け20件の里帰りをしております（平成26年12月1日現在）。

・**芦立のシダレアカマツ**（岩手県紫波町指定天然記念物 写真1）

芦立のシダレアカマツは紫波町紫野の共同墓地にあるアカマツの突然変異種で、樹齢200年、樹高9.7m、幹周1.93mとシダレアカマツでは県内随一でありました。平成19年に紫波町からの要請でつぎ木増殖を行い、平成21年7月に里帰りをいたしました。現在、原木は枯れてしまいましたが、その遺伝子を引き継ぐシダレアカマツが現地で育っております。



写真1 左：芦立のシダレアカマツ(現在、原木はない)
右：里帰りした後継樹(平成26年8月)

・**大井沢の大栗**（山形県指定天然記念物）

大井沢の大栗は、樹齢800年、樹高15m、幹周8.5mのシバグリです。平成23年7月に西川町からの要請を受け、平成24年3月及び平成25年3月につぎ木増殖し、現在、当育種場で養苗中です。豪雪地帯ということもあり、増殖材料の収集を通常よりも早い11月に実施したため増殖が成功するか不安でしたが順調に育っています。今は里帰りに向け準備中です。

・**江津の庭梅**（秋田県横手市の老木）

1,000年以上の歴史をもつ大屋梅の元祖といわれ、樹高3m、直径40cmの老木で樹勢が弱まってきました。この梅を守ろうと「大屋梅保存会」の方々から、平成26年2月に要請を受けつぎ木増殖し、現在、当育種場で養苗中です（写真2）。平成26年6月には保存会の

方々が後継樹の様子を見学に訪れています。



写真2 江津の梅庭 保存会が見学(平成26年6月)

・**奇跡の一本松**（岩手県陸前高田市 写真3）

以前にもご紹介させていただきましたが、先の震災の津波により高田松原の7万本の松林で1本のマツが残り、その残った1本マツからつぎ木増殖を行いました。これらはつぎ木4兄弟と呼ばれ、現在、当育種場で35～65cmほどに成長しております。この兄弟たちも里帰りを楽しみにしているかもしれません。

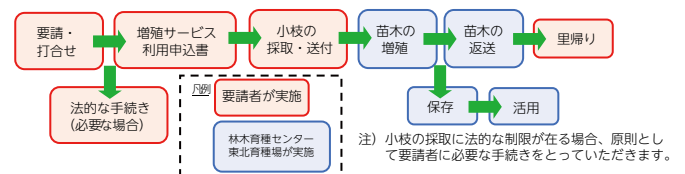


写真3 奇跡の一本松養苗中(平成26年8月)

3 みなさんの身近にある地域のシンボルとなっている樹木が枯れそう、或いは倒木の危険性があって伐採しなければならない後継樹を残したい、とお考えの方は下記にお問い合わせ下さい。クローン増殖の成否は樹種や増殖する時期によって異なるため増殖困難な場合もありますが、様々な想いが込められたシンボリックな樹木の後継樹クローンを里帰りさせることで、皆様のお力になれるようできる限りのことをさせていただき思っております。

まずはご相談を。

4 林木遺伝子銀行110番の手続き流れ



お問い合わせは
独立行政法人 森林総合研究所
林木育種センター東北育種場 遺伝資源管理課 まで
TEL 019-688-4805 (直) FAX 019-694-1715